

光市医師会報

昭和54年5月発行

No. 81



前田俊男先生

光市医師会

医師会月間行事

※4月23日(金) 午後7・30

救急医療研修会 於 医師会館

出席者 20名

先般光市医師会にて購入した救急用医療機械及び教育用道具や人形を使用し、富恵哲先生を講師に、蘇生法、気管の確保、挿管技術等約2時間にわたり研修した。各医療機関に諸道具機械を順番に廻すことと、看護職員の研修会の開催と、医師以外の学校教員保健婦等の研修に利用すること等を決めて解散した。

※5月8日(火) 午後7・30

定例理事会 於医師会館

出席者 大野、福本、松村、富恵。亀田、板垣、伊藤

○昭和54年度理事の業務分担担当の確認

○報告連絡事項

1. 各契約 覚書調印終了
2. 県医、日医会員 光市医師会館医療機関の4月1日現在の状況
3. 山口新聞本社より萩原義則常務、藤井信行記者来訪、光市医師会について取材主として地域医療の問題。
4. 長寿会員の件 該当なし。
5. 麻酔医標榜許可申請
副看護婦認定試験
6. 諸会議 研究会 学会
 - ・第33回山口県臨床外科学会、於防府
5月13日
 - ・第23回山口県医師会労災保険指定医
部会総会 同上

- ・第23回山口県労災医学会 同上
- ・郡市医師会長会議 5月17日
- ・呼吸疾患調査の件について、岩国、下松、光医師会協議 於下松医師会
5月16日
- ・山口県小児保健研究会第15回総会並
並びにシンポジウム 山口市 5月
19日
- ・その他

a 交通安全会議 4月26日 於市役
所 会長出席

b 消防大会 5月16日 於松屋
会長出席

c 下松市医師会総会 5月20日

7. 昭和54年度第1回支部長会議報告

(1) 昭和53年度決算

(2) 互助会加入状況

(3) グループ保険加入状況

安田生命 本人 641名

配偶者 291名

配当金 26,852,160円

配当率 37.89%

協栄生命 本人 440名

配偶者 241名

配当金 21,962,334円

配当率 36.89%

(4) 所得保険状況

(5) 再建資金助成見舞金

a 罹災 3名 90,000円

b 弔慰金 13名 6,500,000円

c 休業補償金 29名

9,580,500円

d 退会金 55,000円

(6) 互助会昭和54年度歳入歳出予算

歳入 40,362,000円

歳出 40,362,000円

8. 代議員会報告

- (1) 日本医師会代議員会状況
- (2) 昭和54年度県医歳入歳出予算
 - 歳入 206,016,000円
 - 歳出 206,016,000円
- (3) 昭和54年度山口県医師会会費
- (4) 昭和54年度山口県医師会入会金
 - (a) A会員として昭和54年度入会しようとする者 200,000円
 - (b) B、C会員は入会金不要
 - (c) B、C会員がA会員となろうとする時 200,000円
- (5) 代議員会決議権限の委任
会費の増徴を伴わない予算補正は、理事会の議決に委任する。

9. 質問事項

- (1) 医薬分業
- (2) 医業経営
- (3) 適正化指導監査の件
- (4) 開業規制に就いて

○協議事項

1. 行事予定

- a 5月22日 例会及び検討会
- b 看護婦を対称とする救急医療研修会
- c 養護教員を対称とする救急医療研修会 教育委員会と接渉
- d 6月10日 市立病院と野球試合
- e 保険研修会 6月予定

2. スライドプロジェクター購入の件

※5月22日(火) 午後7・30

例会並に検討会 於医師会館

出席者 25名

○報告連絡事項

1. 厚生行政への非協力体制全面解除について
2. 救急医療対策事業地域別実施状況
3. 郡市医師会長会議(S54・5・17)報告、新年度事業計画 各項目は省略
4. 昭和54年度第1回互助 支部会長会議(S・54・4・22)報告
5. 昭和54年度第1回代議員会(S54・4・22)報告
6. 光市医師会に関する事項
 - a 4月1日現在会員数 43名 内A会員 25名 B会員 18名
 - b 各契約書、覚書きすべて調印終了
 - c 長寿会員調査 該当なし
 - d 減免 申請なし
 - e スライド映写機購入
 - f 山口県立衛生看護学院昭和54年度卒業生の県内就職について
 - g 山口県対癌協会会員募集依頼
 - h 徳山市、新南陽市、鹿野町休日急病診療所
 - 5月13日開所
 - 5月16日開所式
 - 徳山市慶万町10番9号
 - i 光警察署より依頼、疲労看護婦による自動車運転に注意
 - j 光市医師会行事予定
 - ① 対市立病院との懇親野球、6月10日
 - ② 各学校保健主任、養護教員救急処置研修会 6月21日
 - ③ 保険研修会 下松市医師会と合同

6月23日 質問事項の提出依頼

④6月度例会 学術研究会

講師 光市立病院副院長板垣省三
先生

k 大気汚染の調査報告

l 臨床外科学会特別講演資料配布説明
救急時の薬の使い方に就いて

新入会員紹介

1ヶ月遅れましたが、市立病院外科に勤務しておられます野並芳樹先生を御紹介いたします。入会は3月1日付になっています。

野並 芳樹先生

現住所 島田市新町

10の1和幸ハイツ22号

TEL 0833-72-5314

生年月日 昭和26年1月9日

出身校 高知学芸高 山口大学医学部
昭和51年卒業

略歴 母校第1外科に入局 心臓その他専攻 倉敷中央病院、周東総合病院に出張ののち光市立病院外科に赴任

趣味 強いて云えば歴史とスポーツ
(目下のところは硬式テニス)

家族 独身

[My Hobby]

無 我

前田俊男

此の写真は能楽「鶴亀」の一場面です。能衣裳に身をかためて舞台に出た時と、手術衣を身につけて手術室に立った時とが同

じような気がします。

コメント

河内山 清

我々素人が能をやっている気分です。居る間は極楽だがそのあとが大変。目のとび出る程の出演料をとられて忽ち青菜に塩である。大汗かいてやって人に観せて高い出演料貰うのではなくて取られるのである。残念ながら念のため。時間で割ると瞬き一つする度に聖徳太子が二三枚ひらりひらりと風に舞って逃げて行く勘定になる。もう金輪際やるまいと思うのだが大先生の巧妙極まるおだて戦法にひつかかつて又その気になり又々後悔のほぞを噛むと云うわけである。だが出番前鏡の間にじっと腰掛けて長い間のきびしい練習に耐えた己の心と独り向き合っている十分間程の心の静寂と凝縮とが何物にも代え難い値打であるようだ。ましてや「鶴亀」は絢爛豪華まばゆいばかりの衣裳と舞台に鶴と亀とを従へての颯爽たる登場である。シテ冥利につまる能であると云へる。我々如き「あとの後悔先に立たず」の鼻下長類いかれ族の居る限り古典芸能の世界も安泰ということである。

お暇な時には どうぞ !

私のお薦めするモノ

福本 寿雄

「私のお薦めしたい物」

伊藤先生より表題について何か書けと言われました。しかし私には諸先生方のよう

な高尚な趣味も実力も全くなく、又何をやつても物にならず、勉強も嫌いだから、本も駄目、ゴルフも駄目、テニスも駄目、最近唯一だつたアルコールも駄目とくれば全く取り得がなく、何の為に生きているのか？と考える昨今である。

しかし、何かないか？と考えると、昔から音楽とカメラが好きで、若い時は、ピアノをよく弄くっていたが、最近ではキーを叩くこともあまりなく、もっぱら聞く方である。終戦後の学生時代、アルバイトで溜めた金で、中古の蓄音機を買い、それにモーターとラジオを取り付けて、自製電蓄とし、中古のベートーヴェンの第6（田園）のレコードを買って、下宿で聞いた時の喜びは今だに忘れ得ない思い出である。

その後、クラシックを次々に買い漁り、又、軍歌、昔の童謡、民謡、流行歌集（原盤）と、いろいろ気が変わり、その中に、とうとうレコードをかけるのも面倒になり、今では、専ら、カセットテープ1本になってしまった。

机に向って、保険や書類を書きつゝ、カラヤンやベームのシンフォニーや、芳村伊十郎の長唄を聞くことが、こゝ十年位つづいている趣味である。最近、男の更年期障害ではないが、気が短なりすぐに腹が立ちやすくなる。そのような時に、クラシックや長唄を聞くと、誠に心安らぐ思いである。

又8mmやビデオカメラ・ビデオテープにも凝りだしたが、これも下手な横好きで、少しも上達しない。しかし思い出になると思い、盛んに撮りまくっている。一応、機械だけは揃っているの、諸先生方の息子

さんやお嬢さんの結婚式等にビデオカメラや8mmで撮ると、良い思い出になると思います。いつでも無料でお借し致しますのでお申し出下さいませ。

最後にお薦めしたい私の好きなカセットを書いておきます。

①ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮

（ベルリン・フィルハーモニー）

ベートーヴェン交響曲第5番

ハ短調作品67（運命）

②カール・ベーム指揮

（ウィーン・フィルハーモニー）

ベートーヴェン交響曲第6番

ヘ長調作品68（田園）

①・②の発売元 ドイツグラムフォン

ポリドール YO7502・7504

③七代目芳村伊十郎 長唄20番の内

(1) 田 勸進張

(2) 二 越後獅子

(3) 三 元禄花見踊

(4) 四 岸の柳

発売元 コロンビア

CAK-9051-55

あとがき

大野新会長に代ってから2ヶ月、総会、研修会並びに検討会、救急医療研修会、次は野球試合等次々と新しい試み、事業が進められています。会員皆様老りも若きも積極的に参加協力いただき、光市医師会が一つの流れになって動きだしたように思います。会員誰れもが、この流れに棹さすことのないように、そして正しいところに流

れつくように、力を合せていただきたくお願い致します。

先般例会の席上会報委員会よりお願い致しました「お暇な時には どうぞ 私の推薦する□□□□□」という欄の件ですが、空欄の部分には何をもってきて貰っても結構です。勝手なものを入れて、気どらないで面白い文章を期待しています。積極的に原稿を送っていただけると幸せなのですが、又お願いした折には断わずに必ずお引き

受け下さいますようお願い申し上げます。

今月号の表紙は、前田俊男先生にお願いしました。原版はカラーのとても立派な写真です。いつまでもこのように背をのばしてお能を舞い、お元気にお仕事をお続けくださいますようお願いしております。

来月は又素晴らしい表紙が現れると思います。御期待下さい。

伊 藤



発行所	光市医師会 TEL 0833 77-2061
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社